

# 「川崎市総合計画 第3期実施計画 案」について

川崎市総合計画は、本市がめざす都市像やまちづくりの基本目標を定めた「基本構想」と、基本構想に定める5つの基本政策を体系的に推進するために政策の方向性を明らかにする「基本計画」、これらのビジョン・方向性に基づき、中期の具体的な取組や目標を定める「実施計画」で構成されています。

令和3（2021）年度は、第2期実施計画の最終年度となるため、令和4（2022）年度から7（2025）年度までの4年間を計画期間とする第3期実施計画の策定に向けて、取組を進めており、昨年8月には「川崎市総合計画 第3期実施計画 基本的な考え方」、11月には「川崎市総合計画 第3期実施計画 素案」を取りまとめ、公表しました。

その後、パブリックコメント手続等を通じて市民の皆様にご意見をいただき、予算編成作業とも連携しながら今後4年間の具体的な事業内容を調整いたしまして、この度「第3期実施計画 案」として取りまとめましたので、「令和4年度予算案」、「今後の財政運営の基本的な考え方」「行財政改革第3期プログラム案」及び「資産マネジメント第3期実施方針案」とともに公表するものです。

## 1 第3期実施計画案の構成

### （1）総論

- 人口減少社会への転換等の「将来を見据えて乗り越えなければならない課題」にいち早く対応するとともに、「積極的に活用すべき川崎のポテンシャル」を最大限に活用し、「新たな飛躍に向けたチャンス」を的確に捉え、取組を進めるなどの「計画策定にあたっての基本認識」等を記載しています。
- 継続した課題を改めて整理するとともに、社会状況の不確実性が高まる中、「本市を取り巻く急激な環境変化」を含め、これまで生じた社会環境や都市環境の変化による新たな課題の状況を分析した上で、課題に対応する取組を計画的に推進することとしています。

### （2）かわさき10年戦略

- 「かわさき10年戦略」では、まちに活気や活力をもたらす「成長」、市民に安心やうるおいを与え、まちに対する愛着を育てる「成熟」、成長と成熟の好循環を支える「基盤」づくりの3つの視点で、7つの戦略を設定するとともに、各戦略の目標や、目標を達成するための大まかな行程を明らかにしています。
- 特に第3期実施計画では、「かわさき10年戦略」の中長期的視点という性格をより明確にするため、戦略ごとに「2030ビジョン」、「令和12（2030）年にめざす姿」、「令和7（2025）年の目標」を定め、第3期実施計画の計画期間の先を見据えた取組を推進します。

### (3) 実施計画

#### ア 政策体系別計画

- 5つの「基本政策」ごとに、23の「政策」の方向性に沿って、74の「施策」ごとの「これまでの主な取組状況」、「施策の主な課題」、「施策の方向性」、「直接目標」、「主な成果指標」「計画期間（令和4（2022）年度～令和7（2025）年度）の主な取組」を取りまとめています。
- 第2期実施計画から引き続き、23の「政策」には、市民満足度等を表す「市民の実感指標」、74の「施策」には、直接目標等がどのくらい実現されたかを客観的に数値で表す「成果指標」を位置づけています。

#### イ 区計画

- 7つの区別に、区の特徴や特性を踏まえた「区の概要」、「まちづくりの方向性」、「これまでの主な取組状況」、「現状と課題」、「計画期間の主な取組」、「区における特徴あるまちづくりの取組」、「“それいいね”が広がるまちづくりに向けて」、「区マップ」を取りまとめています。
- 特に、「“それいいね”が広がるまちづくりに向けて」については、市民の暮らしに身近な区役所が、市民や地域で活動する団体等と協働で行う、地域課題の解決に向けた主な取組を位置づけています。

### (4) 進捗管理と評価

- 少子高齢化の急速な進展等により、人口減少社会を迎えようとする中、限られた財源や人員を有効に活用し、更なる市民サービスの質的向上を図るとともに、市民満足度を高めていくことが今まで以上に求められています。
- 第3期実施計画においても、迅速かつ、柔軟に状況判断等を行うとともに、目標とその成果をしっかりと可視化し、課題や改善点を明確化することで、PDCAサイクルをより一層効果的に機能させながら、事業の確実な実施を図ります。

## 2 素案からの主な変更項目

### (1) 4か年の取組内容の具体化

- 素案では、各事務事業について、令和4（2022）年度から7（2025）年度の4か年の計画期間の事業内容を一括してお示ししていましたが、予算編成作業と連携した調整を進め、年度ごとの取組を可能な限り具体化して表記しました。＜政策体系別計画・区計画参照＞

#### 【例】 ■第3期実施計画 素案（令和3（2021）年11月時点）

事務事業名	現状	事業内容・目標	
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度	令和8（2026）年度以降
<b>SDGs未来都市推進事業</b> SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、多様なステークホルダーとの連携強化を図り、SDGsの達成に向けた取組を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」の運用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録・認証事業者の募集と認定</li> </ul> </li> <li>●「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用による事業者間の連携推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供やセミナー開催、マッチング支援などプラットフォームによる登録・認証事業者の支援</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内でSDGsに取り組む事業者の登録・認証による多様なステークホルダーとの連携推進</li> <li>・プラットフォームを通じたSDGsに取り組む事業者のネットワーク化の推進</li> <li>・SDGsに取り組む事業者の支援</li> </ul>	事業推進



#### 【例】 ■第3期実施計画 案（令和4（2022）年2月時点）

事務事業名	現状	事業内容・目標				
	令和3（2021）年度	令和4（2022）年度	令和5（2023）年度	令和6（2024）年度	令和7（2025）年度	令和8（2026）年度以降
<b>SDGs未来都市推進事業</b> SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用により、多様なステークホルダーとの連携強化を図り、SDGsの達成に向けた取組を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」の運用               <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録・認証事業者の募集と認定</li> </ul> </li> <li>●「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用による事業者間の連携推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>○SDGsに取り組む事業者の支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供やセミナー開催などによる事業者の支援</li> </ul> </li> <li>○事業者のネットワーク化の支援                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組事例の共有やマッチング支援などの実施</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請様式の改善など手続きの利便性向上に向けた検討と取組の推進</li> <li>継続実施</li> <li>継続実施</li> </ul>				事業推進

## (2) 「成果指標」の修正・追加

- 施策の達成度をより分かりやすく示すため、素案の公表段階で新たに 69 の成果指標を加えることとしましたが、その時点で調査中としていた成果指標について、調査結果を踏まえ新たに目標値を設定するとともに、一部の成果指標の目標値を最新の実績値を踏まえて修正しました。
- その後の検討に基づきさらに成果指標を追加し、「第 3 期実施計画 案」までに新たに追加した成果指標は 76 となっています。＜政策体系別計画参照＞

〔「3 期実施計画 案」で追加した成果指標〕

- ・市立特別支援学校卒業生のうち、就労した生徒の 1 年後の就労定着率（施策 1-4-5）
- ・学校給食の残食率（小・中学校）（施策 2-2-1）
- ・保護者や地域が運営に「よく参加している」と回答した学校の割合（小・中学校）（施策 2-2-4）
- ・学校における健康リスクの割合（仕事の量的負担・コントロール度、職場の支援）（施策 2-2-4）
- ・J R 南武線連続立体交差事業に係る用地買収の進捗率（施策 4-7-2）

## (3) 「計画の推進に向けた考え方」の一部修正

- 素案において、今後検討を進めるとしていた、社会環境や都市環境の変化等への対応が必要となった場合の本計画の取扱いについて、本計画策定後に社会環境や都市環境の大きな変化等が生じ、対応が必要となった場合には、本計画の各施策への影響度合い等を考慮した上で、修正等の対応を図ることとしました。

＜75 ページ参照＞

## (4) 「行財政改革第 3 期プログラム案」や「令和 4 年度予算案」等を踏まえた内容の修正

- 「行財政改革第 3 期プログラム案」、「今後の財政運営の基本的な考え方(改定案)」、「令和 4 年度予算案」及び「資産マネジメント第 3 期実施方針案」の内容に基づき、記載内容を変更しました。＜78～96 ページ参照＞

## (5) 「かわさき 10 年戦略」の一部修正

- 予算編成作業と連携した調整を進め、令和 4 年度予算案との整合を図りました。
- 現在の課題認識及び計画期間の取組内容を踏まえ、行程表の一部を修正しました。

＜104～116 ページ参照＞

戦 略

1




「みんなで守る強く  
しなやかなまち」をめざす

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
<b>国土強靱化の推進</b> (1-1-1 1-1-2)	危機管理体制の更なる強化と「かわさき強靱化計画」に基づく取組の推進 被災時に迅速な復旧が可能なまちづくりに向けた発災前の復興準備の推進			
<b>不燃化の取組や まち全体の耐震化の 推進</b> (1-1-2 1-1-3)	ハード・ソフト両面からの重点対策地区における不燃化の推進 火災延焼リスクの高い地区における地域住民との協働による防災まちづくりの推進 避難路沿道の建築物、住宅や宅地等をはじめとするまち全体の耐震化の推進			
<b>災害時の拠点となる 本庁舎等の建替え</b> (1-1-1)	新本庁舎完成 (R4(2022)) → 第2庁舎解体・広場整備 → 広場完成 (R6(2024))			
<b>上下水道機能の 安定確保</b> (1-3-1 1-3-2)	避難所への供給ルートを含む重要な水道管路及び配水池・配水塔の耐震化完了 (R4(2022)) 上下水道施設・管路・管さよ等の耐震化の推進 市立小・中学校などへの開設不要型 応急給水拠点の整備 → 開設不要型応急給水拠点 の整備率：100% (R5(2023))			
<b>地域防災力の向上</b> (1-1-1 1-4-1)	自主防災組織等との連携による各区の特性に応じた防災訓練など、地域と行政が一体となった防災体制の充実 自助・共助（互助）・公助の役割の明確化や、積極的な広報の実施による防災意識の向上 高齢者・障害者等の要援護者への災害時援護体制の構築 分散避難をはじめ、感染症対策等を踏まえた適切な避難行動の普及啓発			
<b>消防力や救急医療 体制の強化</b> (1-1-4 1-6-1 1-6-2)	消防署所や消防車両等の整備、消防団活動の充実強化など消防体制の強化 救急需要の動向把握や、救急救命士の養成等による救急体制の整備 医療需要を見据えた川崎病院の医療機能再編整備の推進			
<b>感染症対策の強化</b> (1-6-1 1-6-3)	新型コロナウイルス感染症への対応と検証、検証結果を踏まえた体制の強化 感染症の発生ステージに応じた国や県、医療機関等と連携した取組の推進			
<b>気候変動に伴う 風水害への適応力 の強化</b> (1-1-5 1-3-2)	風水害の激甚化・頻発化を見据えた気候変動適応策の推進 五反田川放水路の整備 → 完成 (R5(2023)) → 水害リスクの最小化に向けた 河川改修等の推進 浸水シミュレーション等に基づく浸水リスクの高い重点化地区や局地的な浸水箇所における浸水対策の推進 国や河川流域自治体等との連携による治水対策や浸水対策の推進			
<b>防犯の取組や 安全対策等による まちの価値の向上</b> (1-2-1 1-2-2 1-2-3 1-2-4 3-3-2)	警察や自主防犯組織等との連携、防犯カメラの設置推進等による 刑法犯認知件数政令指定都市最少レベル（人口割合）の維持に向けた取組の推進 犯罪被害者等支援条例施行 (R4(2022)) → 総合的な犯罪被害者等支援の推進 交通事故防止に向けた交通安全に係る啓発や教育の推進 JR 南武線武蔵溝ノ口駅、登戸駅ホームドア設置完了 (R4(2022)) JR 南武線川崎駅ほか2駅 ホームドア設置完了 (R5(2023)) 鉄道主要駅におけるホームドア設置 をはじめとした安全対策の実施			

「基盤づくり」

2030 ビジョン

市民・事業者・行政等がそれぞれの役割に求められる力を高め、いつ起こるかわからない地震や集中豪雨などの自然災害や、感染症等の危機事象の発生に的確に備えるとともに、日常生活を安全・安心に過ごせる環境整備や地域づくりを推進し、災害が発生しても柔軟に対応し迅速に立ち直れ、いつでも安心して暮らすことのできる、力強しなやかなまちをめざします。

R7 (2025)	R7(2025)の 目標	R12(2030)に めざす姿
→	災害に強く、 迅速に復旧できる 基盤の構築	自助・共助（互助）・公助の力が 高まり、災害に強く 迅速に立ち直れるまち  
→	市民の防災意識 の向上と地域に おける顔の見える 関係性の構築	
→	危機事象等に 的確に対応できる 消防力と救急 医療体制の強化	
→	感染症に的確に 対応できる 体制の強化	
→	気候変動に伴う 風水害に対して 被害を最小化 できるまちの形成	気候変動に伴う風水害に適応する 強しなやかなまち  
→	犯罪や交通事故 の未然防止など 安全・安心な 社会の実現  安全・安心に暮ら すことのできる 地域の生活基盤 の一層の充実	多様な主体と連携した地域づくりや 環境整備が進み、誰もが安全・安心に 暮らせるまち  

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

戦 略

2

「どこよりも子育て  
しやすいまち」をめざす

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
<b>希望する誰もが安心して子どもを預けられる環境づくり</b> (2-1-1 2-1-2)	多様な手法を活用した保育受入枠の確保、保育士確保対策・保育サービスの質の維持・向上			
	幼稚園における一時預かりや低年齢児の受入れの促進			
	区役所におけるきめ細かな利用者支援の実施			
	保育・子育て総合支援センターにおける保育と地域の子育ての一体的な支援の推進		宮前区運営開始 (R5(2023))	多摩区運営開始 (R6(2024))
<b>子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり</b> (1-4-4 1-5-2 2-1-1 2-1-2 2-1-3 2-1-4 2-2-2)	各区に子ども家庭総合支援拠点を設置 (R4(2022))			
	区役所の児童家庭相談支援体制の強化による児童家庭支援(予防)と児童相談所の体制強化による児童虐待対策(介入)の推進			
	ひとり親家庭の生活・子育て・就業支援等の総合的な取組の推進			
	子ども・若者の実態を踏まえた学習支援やひとり親家庭の支援など、子どもの貧困対策の推進			
<b>南部子ども発達・相談センター開設 (R3)</b>	地域療育センターや子ども発達・相談センター等における障害児等への適切な相談・支援の実施			
<b>子ども・若者の安心できる居場所づくり</b> (1-5-2 2-1-3 2-2-1 2-2-2 2-3-1)	こども文化センター等における、多くの人との関わりの中で多様な価値観に触れる機会の創出			
	「フリースペースえん」、「若者就労・生活自立支援センターブリュッケ」、「ゆうゆう広場」や「定時制カフェ」など、子ども・若者の多様な居場所の確保に向けた取組の推進			
<b>地域の寺子屋 74 か所で開講 (R3)</b>	地域の寺子屋の全小・中学校での開講をめざした取組の実施			
<b>未来を担う人材の育成</b> (1-5-2 2-1-1 2-2-1 2-2-2)	すべての子どもが「分かる」授業の実現に向けた習熟の程度に応じた指導の充実			
	「キャリア在り方生き方教育」、読書活動の充実、新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実など			
	誰一人取り残さない個別最適な学びの実現をめざす「かわさき GIGA スクール構想」と、学習履歴(スタディ・ログ)など教育データの活用推進			
	子ども・若者応援基金を活用したグローバル人材育成のプログラムの充実・実施			
<b>授業が分かる子どもの割合</b> 小 5: 90.1% (R2) 中 2: 80.8% (R2)	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置拡充による児童生徒一人ひとりに寄り添った教育支援の実施			
	不登校児童生徒への ICT を活用した学習など多様な教育機会の確保			
<b>安全で快適な教育環境の整備</b> (2-2-3)	学級編制の標準の引下げ(小学校の 35 人学級)の段階的な実施や児童生徒数の変化に対応した適切な教育環境の確保			
	「学校施設長期保全計画」に基づく校舎及び体育館の再生整備等の推進			
	学校トイレの快適化の完了 (R4(2022))		バリアフリー化や空調設備の更新等による教育環境の向上	
<b>多様性や子どもの権利が認められる社会の実現に向けた取組の推進</b> (2-2-1 2-2-2 2-3-1 5-2-1)	教育的ニーズに応じた多様な学びの場の充実に向けた特別支援学校における施設整備の推進			
	共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育システム構築の推進			
	多文化共生教育と支援が必要な児童生徒の学習環境の向上			
	子どもの意見表明の場の充実など、子どもの権利を尊重する社会の実現に向けた取組の推進			

「成熟」戦略

2030 ビジョン

すべての子どもが生まれ育った環境にかかわらず、成長や発達の段階に合わせて、すこやかに育つことができるよう、安心して子育てできるしくみを整えるとともに、一人ひとりが持つ個性や能力が尊重され、自らが望む将来を切り拓いていけるよう、地域全体で子育てを支える環境づくりを進め、どこよりも子育てしやすく、子育て世代に選ばれるまちをめざします。

R7 (2025)	R7(2025)の 目標	R12(2030)に めざす姿
→	どこよりも子育てしやすく、すべての子どもが安心してすこやかに成長できるまちの実現	あらゆる子育て家庭が地域に支えられながら、子どもの成長に合わせてさまざまな選択ができ、将来の見通しと希望が持てるまち
→	中部児童相談所の建替え完了 (R7(2025))	
→	機会格差のないまちの実現	すべての子どもたちが多様な価値観の中で心豊かに育ち社会的に自立できる力がつくまち
→	全小・中学校に設置完了 (R7(2025))	
→	地域全体で子どもや子育て家庭を支え合うまちの実現	多様な学びですべての子どもが社会で自立して生きていくための基礎を培う教育環境の実現
→	新川崎地区小学校開校 (R7(2025))	
→	誰もが多様性を尊重しながら共に支え高め合える社会の構築	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

戦略

3

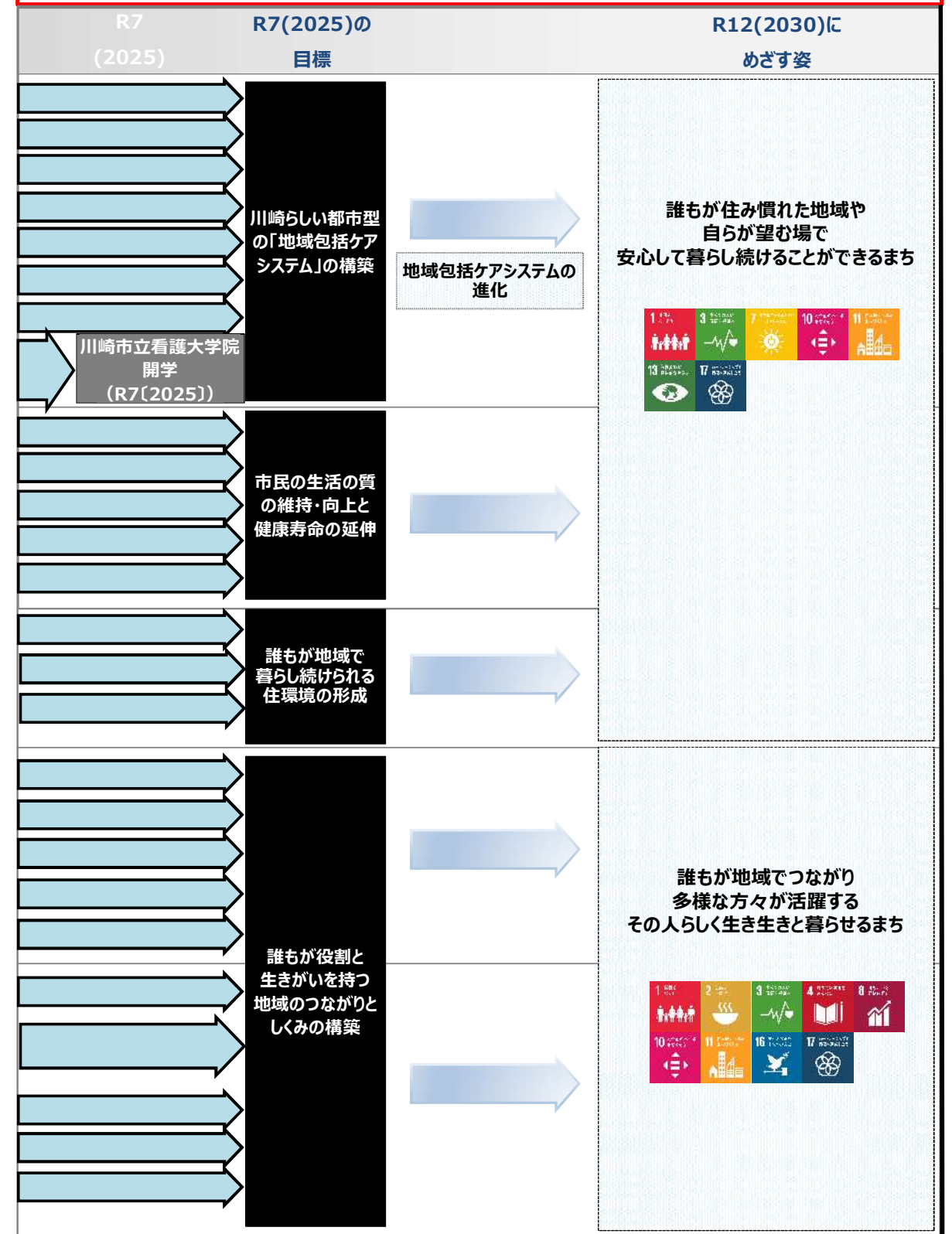
「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
総合的なケアの推進 (1-4-1 1-4-2 1-4-4 1-6-1)	地域包括ケアシステムの構築に向けた、多様な主体による具体的な取組の促進			
	医療・介護等の連携による在宅療養の推進と看取り提供体制の構築			
	全世代・全対象型の地域リハビリテーションの推進			
	認知症の早期診断・早期対応の推進と認知症の人や家族を地域で支える体制の構築			
複合福祉センターふくふくにおいて、総合リハビリテーション推進センター等運営開始 (R3)	特別養護老人ホーム等の計画的な整備による介護サービス基盤の構築			
	質の高い介護サービスを支える人材の確保			
	障害福祉サービス基盤（通所事業所等）の計画的な整備			
	川崎市立看護大学開学 (R4(2022))	地域包括ケアシステムや高度医療を担う看護人材の戦略的な養成・確保と、高度な専門性を有する看護人材を養成する大学院の設置に向けた取組		
健康寿命の延伸に向けた取組 (1-4-1 1-4-2 1-4-7 4-8-1)	地域団体や企業等との連携による市民の生涯を通じた主体的な健康づくりの促進			
	若年層・働き盛り世代への生活習慣病予防対策の推進			
	がんの早期発見・早期治療のための取組とがんにならないための生活習慣の改善の促進			
	地域の実情に応じた高齢者の自立支援と効果的な介護予防の推進			
誰もが暮らしやすい住環境づくり (1-4-6)	多様化する居住ニーズやライフスタイル等に応じた住まい・住まい方の実現に向けた取組の推進			
	空き家の利活用の促進等、既存住宅の良質化・流通促進			
	重層的な住宅セーフティネットの構築に向けた取組の推進			
社会的・経済的自立に向けた取組の推進 (1-4-3 1-4-5 1-5-2 2-2-2 4-3-1)	生活困窮者等への就労・生活支援の実施			
	ひきこもり地域支援センターにおける相談・アセスメント機能の充実と支援ネットワークの構築			
	就労を望む高齢者の就業機会の確保			
	障害者の特性に応じた就労等に向けた教育段階からマッチング、企業支援までの流れを円滑化する取組の実施			
ひきこもり地域支援センター運営開始 (R3)	多様な働き方に対する雇用主の理解の促進や定着支援の実施			
誰もが生きがいを持てる地域づくり (1-4-1 1-4-3 1-4-5 2-3-2 5-1-1 5-2-3)	地区カルテを活用した多様な主体との連携による地域づくりの推進			
	高齢者フリーパス等のICTの導入 (R4(2022))	高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進と持続可能な制度構築		
	障害者の社会参加を促す取組と心のバリアフリーの理念に基づく取組の推進			
	あらゆる世代の多様な人材が活動する地域コミュニティの拠点づくり			
	誰もが活躍できる地域づくりに向けた市民の主体的な学び・活動への支援の実施			

「成熟」戦略

2030 ビジョン

川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムを構築し、誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けられるしくみをつくとともに、希望する誰もが地域活動や就労等を通じて社会に参加できる地域づくりを進め、多様な方々が地域で活躍し、誰もがその人らしく生き生きと暮らせるまちをめざします。



総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

戦略

4

「もっと便利で快適な  
住みやすいまち」をめざす

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
広域拠点の整備 (4-5-1)	川崎駅周辺地区、京急川崎駅周辺地区整備の推進			
	小杉駅周辺地区の整備の推進			
	JR 武蔵小杉駅の安全性・利便性の向上に向けた交通機能の強化	横須賀線下りホーム供用開始 (R4(2022))	新規改札口供用開始 (R5(2023))	
	横浜市高速鉄道3号線延伸など周辺環境等の変化に合わせた新百合ヶ丘駅周辺の整備の推進			
地域生活拠点等の整備 (4-5-2)	登戸土地区画整理事業の推進			
	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺における多摩川や生田緑地等と連携した水、緑などの自然が感じられるまちづくりの推進			
	市街地再開発事業の推進や宮前区役所・市民館・図書館の移転に向けた取組など、鷺沼駅周辺等の整備の推進			
幹線道路網の整備 局所的な渋滞対策 (4-7-1 4-7-2)	交差点改良など緊急渋滞対策、道路整備プログラムに基づく計画的な整備の推進			
	京浜急行大師線連続立体交差事業の推進	1期①区間工事完成 (R5(2023))		
	都市交通の円滑化や分断された地域の一体化に向けた JR 南武線連続立体交差事業の推進			
	都市機能の強化に向けた広域的な幹線道路網の整備の促進			
	(仮称) 等々力大橋や末吉橋の橋りょう整備の推進			
鉄道ネットワークの形成 (4-7-1)	横浜市高速鉄道3号線延伸に向けた調整・事業の推進			
	鉄道輸送力増強の促進及び混雑緩和策の推進			
身近な交通環境の形成によるコンパクトで暮らしやすいまちづくり (1-2-3 4-7-3 4-7-4)	地域特性に応じた効率的・効果的な路線バスネットワークの形成			
	タクシーや施設送迎車等の多様なモビリティ、MaaS等の新技術・新制度の活用など、多様な主体と連携したさまざまな手法による交通手段の確保			
	安全で快適な自転車ネットワークの構築と自転車活用の促進			
	駅アクセスの向上に向けた取組の推進	JR 稲田堤駅橋上駅舎化 (R5(2023))		
緑と水の環境形成 (3-3-1 3-3-3 3-3-4 3-3-5)	生産緑地地区の特定生産緑地制度の周知及び指定推進などによる、都市農地の保全・活用に向けた取組の推進			
	自然と調和した多摩川の魅力向上と多様な主体と連携した賑わいの創出			
	わんぱくの森など、特別緑地保全地区等の更なる活用の取組の推進			
魅力にあふれる公園緑地のパークマネジメント (3-3-1 3-3-2 4-8-1)	富士見公園、等々力緑地、生田緑地の魅力向上に向けた民間活力導入等の推進			
	効果的な民間活用などの多様な主体との連携によるテーマ性のある魅力的な公園づくりの推進、誰もが多様に活用できる場の創出			
	これまでに蓄積された地域による管理や新たな担い手の確保及び育成による質の高い公園緑地の維持管理の実施と緑を学ぶ機会の創出			
地域資源等を活かした魅力的な都市空間づくり (1-4-6 3-3-1 3-3-5 4-6-1 4-6-2)	多様な主体との連携による緑を活かした公共空間づくりの推進			
	道路や公園・緑地、水辺、農地等のさまざまな緑とオープンスペースのイベントや日常生活における多様なニーズに対応した柔軟な活用の推進			
	既存ストックや地域資源を活かしたリノベーションまちづくりの推進			

「成長」戦略

2030 ビジョン

広域拠点・地域生活拠点等の整備を進めるなど、鉄道駅を中心とした便利で快適な暮らしを実現するとともに、都市の活力と市民の日常生活を支える、道路や鉄道網、身近な交通環境の整備により、安全・安心で快適に移動できる職住近接で住みやすいまちをめざします。また、地域資源を存分に活かし、賑わいや、緑と水のうらおいにあふれ、誰もが笑顔でわくわく暮らせるまちをめざします。

R7 (2025)	R7(2025)の 目標	R12(2030)に めざす姿
	魅力と活力にあふれた広域拠点形成の進展	活力や賑わいにあふれ、利便性が高く快適でゆとりを備えた誰からも選ばれる魅力あるまち
→ 移転・基盤整備完了 (R7(2025))	誰もが暮らしやすく利便性の高い地域生活拠点等の形成の進展	鷺沼駅周辺まちづくりの概成
	都市の骨格を形成する交通機能の強化	都市の活力と市民生活を支える充実した交通環境により誰もが安全・安心で快適に移動できるまち
→ (仮称)等々力大橋完成 (R7(2025))		末吉橋完成予定 (R10(2028))
	安全、快適で利便性の高い地域交通環境の一層の充実	横浜市高速鉄道3号線開業目標 (R12(2030))
	誰もが楽しみ、まちの魅力を高める緑と水の豊かな環境の構築	質の高い緑と水に囲まれ、誰もが憩い、集い、楽しみ、賑わいと魅力にあふれるまち
→ 新たな公園の価値の創造、緑あふれる公共空間の創出に向けた取組の推進		富士見公園再編整備工事完了予定 (R9(2027)) 等々力緑地再編整備工事完了予定 (R11(2029))
	賑わいと憩いが共生する都市空間の形成	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画



戦 略

5




「世界に輝き、技術と英知で未来をひらくまち」をめざす

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
<b>脱炭素化の推進</b> (3-1-1 3-2-2 4-1-1 4-2-4 4-4-2)	2050年の脱炭素社会実現に向けた、市民・企業等との協働による温室効果ガス削減や気候変動適応策の推進			
	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえた環境と調和した経済復興（グリーン・リカバリー）に向けた取組の推進			
	グリーンイノベーションの推進、グリーンファイナンス・投資促進の取組の推進			
	廃棄物発電の有効活用等により再生可能エネルギーの普及拡大に取り組む地域エネルギー会社の設立に向けた検討	橋処理センター稼働地域エネルギー会社設立 (R5(2023))	市域の再生可能エネルギーの普及拡大に向けた取組の推進	
	3処理センター体制による運営、施設の長寿命化の推進			
	ごみ減量の推進による政令指定都市最少レベルの維持			
	プラスチック資源循環施策の強化・拡充によるリサイクルの取組の推進			
	臨海部でのカーボンニュートラルコンビナートの構築に向けた取組の推進、川崎港のカーボンニュートラル化の推進			
<b>水素戦略の推進</b> (4-2-4)	CO <sub>2</sub> フリー水素の利活用拡大など、カーボンニュートラルを先導する水素社会実現に向けた取組の推進			
<b>デジタル化・国際化に対応したイノベーションの推進</b> (4-2-2 4-2-3 4-2-5)	ライフイノベーション・ウェルフェアイノベーションの推進			
	量子コンピューティング技術の普及や人材育成など、新産業の創出に向けた産官学連携によるオープンイノベーションの推進			
	行政手続の原則オンライン化完了 (R4(2022))	更なる行政手続のオンライン化等、デジタルデバйд対策を含めた社会全体のデジタル化の推進		
<b>中小企業の支援・商業の振興</b> (4-1-1 4-1-2 4-1-3 4-2-1)	成長性の高い企業の立地促進や、操業場所の確保等による産業集積の維持・強化など、中小企業が経営力・技術力を強化していくための業種に応じたきめ細かな支援の充実			
	デジタル化やICT活用等による生産性向上に向けた取組の推進			
	経営者の高齢化や自然災害・感染症等のリスクに対応した事業承継・事業継続への支援			
	デジタル化への対応など、商業者支援による活力ある商業地域の形成			
	市内中小企業の受注機会の創出に向けた取組の推進			
	ものづくりブランドの推進、知的財産の活用、起業・創業の支援、海外展開支援			
<b>都市農業の振興</b> (4-1-4)	農業者・企業・大学・福祉団体等の多様な主体が連携した都市農業の促進			
	多様な担い手の発掘・育成、農業者の経営改善のための高収益作物生産に向けた支援			
<b>就業の支援</b> (4-3-1 4-3-2)	若者・女性・高齢者・就職氷河期世代など多様な人材の確保と社会的ニーズに対応した総合的な就業支援			
	市内事業所等のワークライフバランスの向上や働き方改革の推進による働きやすい職場環境づくり			
<b>臨海部の活性化</b> (4-4-1 4-4-2)	「臨海部ビジョン」に基づく戦略的マネジメントの推進			
多摩川スカイブリッジ(羽田連絡道路)完成 (R3(2021))	臨海部の基幹産業の動向を踏まえた、新産業創出拠点の形成や大規模な土地利用転換の取組の推進			
	インキュベーション機能の強化などによるキングスカイフロントの拠点価値向上			
	臨港道路東扇島水江町線の整備など、臨海部の交通ネットワーク強化の取組の推進			
	新規航路の誘致・コンテナターミナルの整備推進			
	東扇島掘込部の土地造成の整備推進			

「成長」戦略

2030 ビジョン

持続可能な社会の構築に向けて脱炭素社会の実現をめざすとともに、本市に集積する先端技術や、ものづくり産業、研究機関などの力を活かして、世界で輝き、企業に選ばれる、環境と産業が調和した、デジタル社会の先端で未来をひらくまちをめざします。また、積極的に事業に取り組む中小・ベンチャー企業や商業者等を応援し、誰もが生き生きと働くことができる活気にあふれた元気なまちをめざします。

R7 (2025)	R7(2025)の目標	R12(2030)にめざす姿
	脱炭素社会の実現に向けた、地球温暖化緩和策の進展	2050年のCO <sub>2</sub> 排出実質ゼロの実現に向けて先導的な取組を進め、豊かな未来を創造する地球環境都市 2030年度に2013年度比50%(約1,180万t)のCO <sub>2</sub> 削減 
	企業の競争力強化等による、市内経済の好循環に支えられた産業の振興の実現	多様な主体による連携を通じて、新しい価値や経済の好循環を生み出す持続可能な成長都市 
	誰もが生き生きと働き続けられる環境の構築	豊かな未来を実現する産業が躍動し、多様な人材や文化が共鳴する臨海部 
	社会的課題の解決に貢献しながら、まちの活力を支える産業エリアの形成	
	港湾物流機能の強化	東扇島掘込部土地造成事業完了予定 (R9)

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

政策体系別計画

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画





進行管理・評価

- 総論
- 10年戦略
- 基本政策1
- 基本政策2
- 基本政策3
- 基本政策4
- 基本政策5
- 区計画
- 進捗管理・評価

- 総論
- 10年戦略
- 基本政策1
- 基本政策2
- 基本政策3
- 基本政策4
- 基本政策5
- 区計画
- 進捗管理・評価

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
<b>パラムーブメントの取組の推進</b> (1-2-3 1-4-5 2-2-2 3-3-2 4-8-1 4-8-2 5-2-3)	多様な主体と連携した「かわさきパラムーブメント」のレガシー形成・理念浸透に向けた取組の推進			
	パラスポーツやパラアートの推進など、障害の有無に関わらずスポーツ・文化芸術を共に楽しめる場や機会の充実			
	ユニバーサルデザインのまちづくりやソフト・ハード両面からのバリアフリーの取組の推進			
<b>人権と多様性が尊重されるまちづくりの推進</b> (5-2-1 5-2-2)	誰もが不当な差別を受けることなく、個人として尊重され、生き生きと暮らすことができる人権尊重のまちづくりの推進			
	「多文化共生社会」の実現に向けた取組の推進			
	性別に関わりなく、誰もが個性や能力を発揮できる環境づくりの推進			
<b>スポーツ・文化芸術の振興</b> (3-3-2 4-8-1 4-8-2 4-8-3)	誰もが身近な地域でスポーツに親しむまちの形成に向けた、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の充実と活動の場の持続可能な提供			
	かわさきスポーツパートナー等と協働・連携した取組の推進			
	ストリートカルチャーやエクストリームスポーツなど、若者文化を活用した、若い人たちが集い、自らの可能性を広げるための環境づくりの推進			
	社会変容等を踏まえた、スポーツ・文化芸術活動の推進			
	誰もが文化芸術に触れ、参加できる環境づくり（アート・フォー・オール）の推進			
	市民ミュージアムの被災取藏品修復作業等と、新たな博物館、美術館の整備に向けた取組の推進			
	市民の郷土に対する理解を深める、国史跡橋樹官衙遺跡群をはじめとする文化財の適切な保存と活用等の推進			
	ミュージアムシンフォニーホールなどの音楽資源の活用や、多様な活動団体との連携による、音楽や映像のまちづくりの取組の推進			
<b>協働により、心がつながるコミュニティづくり</b> (1-4-3 2-1-3 2-3-2 4-2-5 4-9-1 5-1-1 5-1-2 5-1-3)	地域コミュニティの中核である町内会・自治会の活性化に向けた支援			
	「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づく、「まちのひろば」や「ソーシャルデザインセンター」の創出など、市民創発による持続可能な暮らしやすい地域づくりの推進			
	生涯学習や地域活動の拠点としての学校施設の更なる有効活用			
	暮らしやすい地域社会の形成のための身近な行政機関である区役所機能の強化に向けた取組の推進			
<b>シティプロモーションの推進</b> (4-9-1 4-9-2)	SNS等の活用など、メディアミックスによる効果的な広報や市民ニーズの的確な把握に向けた広聴等の実施			
	市制100周年を契機とした、更なる都市イメージの向上とシビックプライドの醸成を図るためのシティプロモーションの推進			
	海外都市等とお互いの強みや特性を活かした更なる交流の推進			
	川崎の特性を活かした新たな観光施策の推進			

市制100周年・緑化フェア開催

2030ビジョン	R7 (2025)	R7(2025)の目標	R12(2030)にめざす姿
<p>市民創発による持続可能な地域づくりや、スポーツ・文化芸術の振興とあわせて、ユニバーサルデザインや心のバリアフリー等を推進し、多様性が息づき、外国人市民や障害者、高齢者など、あらゆる人々が社会に参画し誰もが暮らしやすいまちをめざします。また、地域の多彩な魅力やまちのめざす姿を市民全てが共有し、地域への愛着と誇り（シビックプライド）が醸成され、誰もが地域づくりに参加するまちをめざします。</p>		すべての人が互いにそれぞれの違いを認め合い、個性と能力を発揮できるまちの実現	<p>誰もが自分らしく暮らし、自己実現をめざせるまち</p> 
		誰もがスポーツ・文化芸術に親しむまちの形成	<p>スポーツ・文化芸術が日常に溶け込み、誰もが心豊かに暮らし、生きがいを感じられるまち</p> 
		幅広い世代の参加や、多様な主体の協働・連携による地域課題の解決のしくみの構築	<p>「市民創発」による市民自治と多様な価値観を前提とした「寛容と互助」の都市型コミュニティの形成されたまち</p> 
	次の100年に向けたシティプロモーションの推進	川崎の多彩な魅力やめざましい姿を市民と共有し、市民が愛着を持ち、誰もが訪れたい川崎の実現	<p>都市ブランドを確立し、市民が愛着と誇りを持ち、一層多くの人々が集い賑わう好循環のまち</p> 

「基盤づくり」

## 戦略 7 「チャレンジを続け、いつまでも活力あふれるまち」をめざす

**2030ビジョン**

社会経済状況が大きく変化し、およそ10年後には人口減少が見込まれるなど、今後も厳しい財政環境が見込まれる中、中長期的な視点を持って、経営資源の確保や市民サービス・市役所全体の質的向上、健全な財政運営、税源充実につながる施策等に一体的に取り組む、将来負担の抑制を図りながら、効率的・効果的かつ安定的な行財政運営を行うことで、持続可能なまちづくりをめざします。

行程表	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R12 (2030)
<b>行財政改革の推進</b>	～市民ニーズや地域課題を的確に把握しながら、市民サービスと市役所内部の質的改革を進め、経営資源の確保と質の高い市民サービスの提供に向けた取組を推進します～					
【取組1】社会経済状況の変化を踏まえた市民サービスの再構築	→					① 経営資源の確保による持続可能な行財政基盤の構築  ② 質の高い市民サービスの提供による市民満足度の向上
【取組2】市役所の経営資源の最適化	→					
【取組3】多様な主体との協働・連携の更なる推進	→					
【取組4】庁内の人材育成と意識改革	→					
<b>資産マネジメントの推進</b>	～将来的な人口動向を見据え、必要な時期に、必要な規模の行政機能の提供を行うために、資産保有の最適化への重点的な取組を進めます～					
「資産保有の最適化」「施設の長寿命化」「財産の有効活用」の推進	→					
<b>デジタル化の推進</b>	～市民の利便性と行政サービスの質の向上に向けて、デジタル化の取組を進めます～					
デジタル技術とデータを活用した「市民サービス向上」と市役所内部の「業務改革」の推進	→					
<b>地方分権改革の推進</b>	～基礎自治体としての役割をしっかりと果たすために、地方分権改革を一層進めます～					
特別自治市制度の実現を含めた地方分権改革に向けた取組の推進	→					
<b>健全な財政運営</b>	～「必要な施策・事業の着実な推進」と「持続可能な行財政基盤の構築」の両立に向けた取組を進めます～					
「今後の財政運営の基本的な考え方」に基づく財政運営	→					

## (6) 区計画への「区マップ」、「区における特徴あるまちづくりの取組」、「“それいいね”が広がるまちづくりに向けて」の追加

- 各区内で展開される道路や保育所などの生活基盤の整備状況等を記載した「区マップ」を追加しました。
- 地域課題の解決に向けて、行政が中心となって当該区で展開している特徴的な取組を紹介する「区における特徴あるまちづくりの取組」を追加しました。
- 地域課題の解決に向けて市民や団体等と協働・連携する主な取組を紹介する「“それいいね”が広がるまちづくりに向けて」を追加しました。＜487 ページ以降の各区計画参照＞

## (7) 実施計画の策定経過に関する記載の追加

- 市民説明会の実施状況など、計画の策定経過に関する記載を追加しました。＜626 ページ参照＞

## (8) 「持続可能な開発目標（SDGs）」と事務事業の対応表の追加

- 第3期実施計画と「川崎市持続可能な開発目標（SDGs）推進方針」との統合を行うにあたり、素案の時点では、74の施策とSDGsの17ゴールとの関係について記載しましたが、全ての事務事業について、SDGsのゴール・ターゲットとの関係の整理を行い、対応表として掲載しました。＜732 ページ参照＞

## (9) 「第2期川崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略 改訂版 人口ビジョン」の追加

- 第3期実施計画と「川崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略」との統合を行うにあたり、国の人口の将来展望の見込みを勘案した本市の将来人口のシミュレーションを掲載しました。＜752 ページ参照＞

## (10) 意見募集手続（パブリックコメント）の御意見への対応

### ①意見募集の概要

- ・意見の募集期間 令和3年11月27日（土）から12月27日（月）まで
- ・意見の提出方法 インターネット・電子メール、FAX、郵送、持参

### ②寄せられた意見の件数

意見提出方法	意見提出数（意見件数）	
インターネット・電子メール	82 通	194 件
FAX	129 通	365 件
郵送	34 通	91 件
持参	110 通	159 件
市民説明会当日に提出されたもの	6 通	35 件
合計	361 通	844 件

### ③意見の対応区分

項目		A	B	C	D	E	計
かわさき 10 年戦略に関すること		0	1	0	4	0	5
政策体系別計画	基本政策 1 に関すること	0	3	6	126	2	137
	基本政策 2 に関すること	0	5	3	196	4	208
	基本政策 3 に関すること	0	6	1	31	1	39
	基本政策 4 に関すること	1	4	16	328	3	352
	基本政策 5 に関すること	0	4	0	50	1	55
総論、進行管理と評価、その他		0	1	2	45	0	48
合計		1	24	28	780	11	844

### ④御意見の概要

御意見の趣旨が案に沿ったもののほか、語句の説明を求めるもの、今後の取組を進めていく上で参考とするもの、案に対する要望の御意見などが寄せられました。

#### ア 「基本政策 1」に関すること

本市の防災の取組の充実、浄水場の整備、特別養護老人ホームの整備、介護保険の保険料負担の改善、障害者支援の充実、市民の健康づくり等に関わる施策への意見が寄せられました。

#### イ 「基本政策 2」に関すること

小児医療費助成制度の拡充、保育サービスの量の確保と質の向上、教職員の配置や生涯学習の場の確保等に関わる施策への意見が寄せられました。

#### ウ 「基本政策 3」に関すること

脱炭素や再生可能エネルギーの導入など地球環境保全に向けた取組や公園緑地の充実等に関わる施策への意見が寄せられました。

#### エ 「基本政策 4」に関すること

鷺沼駅周辺や南武線沿線のまちづくり、公共交通の環境整備や利便性の向上、新たな博物館・美術館の整備等に関わる施策への意見が寄せられました。

#### オ 「基本政策 5」及び「区計画」に関すること

市民自治の推進や区役所整備等に関わる施策への意見が寄せられました。

#### カ その他

公共施設のあり方や市民意見聴取等に関わる施策への意見が寄せられました。

### ⑤計画案に反映した御意見

・御意見を踏まえ、カーボンニュートラルについての説明を総論に追加しました(45ページ参照)。

## (11) 令和2年国勢調査結果等の公表を踏まえた将来人口推計の更新

- 令和3(2021)年4月に「第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計」を公表しましたが、その後、令和2年国勢調査の人口等基本集計結果(令和3(2021)年11月)等が公表されたことを踏まえ、同推計を更新しました。
- 総人口のピーク時期は前回と同様に令和12(2030)年頃で、推計人口は約0.2万人増加し、約160.5万人になると想定されます。<川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計(更新版)参照>

### 前回(令和3(2021)年4月公表)との比較

※ 端数処理を行っています。

	今回	前回(令和3年4月公表)	差異
人口ピーク年	令和12(2030)年頃	令和12(2030)年頃	±0年
人口ピーク値	約160.5万人	約160.3万人	+0.2万人
年少人口 (0-14歳) ピーク*	令和2(2020)年頃 約19.0万人	令和2(2020)年頃 約18.9万人	±0年 +0.1万人
0-4歳人口 ピーク*	平成27(2015)年頃 約6.6万人	平成27(2015)年頃 約6.6万人	±0年 ±0万人
生産年齢人口 (15-64歳) ピーク	令和7(2025)年頃 約106.0万人	令和7(2025)年頃 約105.8万人	±0年 +0.2万人
老年人口 (65歳以上)	令和32(2050)年頃 約47.5万人	令和32(2050)年頃 約48.1万人	±0年 -0.6万人
75歳以上人口	令和37(2055)年頃 約30.4万人	令和37(2055)年頃 約30.8万人	±0年 -0.4万人

\* 基準となる令和2(2020)年と平成27(2015)年及び推計期間の中での最大値

### 3 充実・推進する主な取組 (第3期実施計画案の主な取組の対応ページをカッコ内に表記)

※ 令和4年度予算案で新規拡充する取組    ㊦…新規    ㊧…拡充

#### 戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

##### 〔国土強靱化の推進〕

- 「かわさき強靱化計画」に基づく取組の推進 (P140)
- 災害情報通信システムの整備推進 (P142)
  - ・新本庁舎移転に伴う整備推進による安定性の向上 ㊧ (P142)

##### 〔不燃化の取組やまち全体の耐震化の推進〕

- 密集市街地の改善に向けた重点対策の推進 (P146)
- 地域住民との協働による防災まちづくりの推進 (P147)
- 民間建築物、宅地等の耐震化の推進 (P149～P150)
  - ・崖地に関する新たな技術を活用した変動の観測や相談支援により、宅地の防災性を向上 ㊧ (P150)

##### 〔災害時の拠点となる本庁舎等の建替え〕

- 本庁舎等建替えの取組 (P143)

##### 〔上下水道機能の安定確保〕

- 上下水道施設等の耐震化 (P176～P177, P181)
- 応急給水拠点の整備 (P176)

##### 〔地域防災力の向上〕

- 地域防災力の強化に向けた取組の推進 (P141～P142)

##### 〔消防力や救急医療体制の強化〕

- 消防署所の整備 (P152)
  - ・宮崎出張所の改築による防災活動拠点の整備 ㊧ (P152)
- 消防指令センターの更新整備 (P152)
- 消防団員の処遇改善 ㊧ (P153)

##### 〔感染症対策の強化〕

- 感染症の発生ステージに応じた国や県、医療機関等と連携した取組の推進 ㊧ (P237)

##### 〔気候変動に伴う風水害への適応力の強化〕

- 五反田川放水路の整備 (P157)
- 浸水シミュレーション等に基づく浸水リスクの高い重点化地区や局地的な浸水箇所における浸水対策の推進 (P181)
- 平瀬川の多摩川合流部の堤防整備 ㊧ (P157)

### 〔防犯の取組や安全対策等によるまちの価値の向上〕

- LED防犯灯の設置等の推進や防犯カメラの設置支援 (P161)
- 交通安全対策の推進 (P165)
- 総合的な犯罪被害者等支援の推進 ㊦ (P161)
- 鉄道事業者と連携した安全対策等の推進 (P169)

## 戦略2 「どこよりも子育てしやすいまち」をめざす

### 〔希望する誰もが安心して子どもを預けられる環境づくり〕

- 認可保育所受入枠の拡大 ㊦ (P248)
- 地域型保育事業による受入枠の拡大 ㊦ (P248)
- 保育士等の処遇改善の実施 (P248)
- 幼稚園における保育ニーズへの対応 ㊦ (P250)
- 幼稚園における就労家庭の園児受入の促進 ㊦ (P250)
- 保育士確保対策の推進 (P251)
- 認可保育所等の整備 (P248)
- 保育・子育て総合支援センターの整備 (P249)

### 〔子どもがすこやかに育つ安全な環境づくり〕

- 児童養護施設・乳児院等における施設の機能強化 ㊦ (P259)
- 児童相談体制の強化に向けた施設整備 (P258)
- ひとり親家庭支援施策の推進 (P260)
  - ・ 養育費の立て替え払いを行う保証会社の活用に係る手数料の一部補助に加え、公正証書作成に対する手数料の補助を新たに実施 ㊦ (P260)
  - ・ 「高校生等通学交通費助成事業」「通勤交通費助成事業」の対象者をひとり親家庭等医療費助成制度対象者まで拡充 ㊦ (P260)
- 障害児等への適時適切な相談・支援の実施 (P205, P276)
  - ・ 障害のある子どもや発達に心配のある子どもの地域生活の充実に向けた子ども発達・相談センターの整備の推進 ㊦ (P205)
  - ・ 医療的ケア児を支援する障害福祉サービス事業所の充実に向けた取組 ㊦ (P205)

### 〔子ども・若者の安心できる居場所づくり〕

- 地域の寺子屋の開講 ㊦ (P290)

### 〔未来を担う人材の育成〕

- 「分かる」授業の実現への学力調査・授業改善研究の推進 ㊦ (P266)
- 「キャリア在り方生き方教育」の推進 (P266)
- 新学習指導要領を踏まえた英語教育の充実 (P267)
- 学校図書館の充実 ㊦ (P268)
- 「かわさきGIGAスクール構想」の推進 (P271)
  - ・ 学習履歴（スタディ・ログ）などの教育データの活用 ㊦ (P271)
- 児童生徒一人ひとりに寄り添った教育支援 ㊦ (P277)



### 〔安全で快適な教育環境の整備〕

- 児童生徒数・学級数の動向に応じた計画的な施設整備（P282）
- 新川崎地区の小学校新設に向けた取組（P282）
- 学校施設の長寿命化に向けた取組（P281）
- 学校トイレの改修（P281）

### 〔多様性や子どもの権利が認められる社会の実現に向けた取組の推進〕

- 中央支援学校の狭あい解消や更なる教育内容の充実に向けた施設整備（P276）
- 「川崎市子ども会議」等の充実による子どもの育ちと意見表明の促進 ㊦（P290）

## 戦略3 「みんなが生き生きと暮らせるまち」をめざす

### 〔総合的なケアの推進〕

- 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組（P187）
- 全世代・全対象型の地域リハビリテーションの推進（P190）
- 認知症の人や家族を地域で支える体制の構築 ㊦（P189）
- 質の高い介護サービスを支える人材の確保 ㊦（P196）
- 障害福祉サービス基盤の整備（P204）

### 〔健康寿命の延伸に向けた取組〕

- 市民の健康づくりの促進 ㊦（P216）
- がん検診の受診率向上に向けた取組（P215）
- かわさき健幸福寿プロジェクトの推進（P198）

### 〔誰もが暮らしやすい住環境づくり〕

- 社会経済状況の変化に対応した住宅施策の推進（P211～P213）
- 市営住宅の建替えや地域包括ケアシステムの構築に資する市営住宅の活用推進（P212～P213）

### 〔社会的・経済的自立に向けた取組の推進〕

- 障害者の特性に応じた就労等に向けた取組の推進 ㊦（P207）
- ひきこもり地域支援センターにおける取組の推進（P208）

### 〔誰もが生きがいを持てる地域づくり〕

- 高齢者の社会参加・生きがいづくりの促進に向けた取組（P200～P201）

## 戦略4 「もっと便利で快適な住みやすいまち」をめざす

### 〔広域拠点の整備〕

- 川崎駅周辺地区、京急川崎駅周辺地区整備の推進（P394）

- 小杉駅周辺地区における民間開発の誘導等 (P395)
- J R 武蔵小杉駅新規改札口設置に向けた取組等の推進 (P395)
- 新百合ヶ丘駅周辺地区整備の推進 (P395)

#### 〔地域生活拠点等の整備〕

- 登戸土地区画整理事業の推進 (P398)
- 登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区のまちづくりの推進 ㊦ (P398)
- 鷺沼駅前地区市街地再開発事業の推進 (P398)
- 柿生駅前南地区の再開発事業の推進 (P399)

#### 〔幹線道路網の整備・局所的な渋滞対策〕

- 都市計画道路等の整備 (P411～P412)
- 緊急渋滞対策の推進 (P412)
- 国道 357 号などの国直轄道路の整備促進 (P409)
- 京浜急行大師線の連続立体交差事業の推進 (P412)
- J R 南武線の連続立体交差事業の事業化に向けた取組の推進 (P413)
- (仮称) 等々力大橋・末吉橋の整備 (P412)

#### 〔鉄道ネットワークの形成〕

- 横浜市高速鉄道 3 号線延伸に向けた取組の推進 (P409)

#### 〔身近な交通環境の形成によるコンパクトで暮らしやすいまちづくり〕

- 路線バスネットワークの形成に向けた取組 (P415)
- コミュニティ交通の支援 ㊦ (P416)
- 駅アクセスの向上に向けた取組の推進 (P169)

#### 〔緑と水の環境形成〕

- 緑化フェア開催に向けた取組の推進 (P316)
- 多摩川の魅力を活かす取組の推進 (P331)
- 農地の保全・活用と「農」とのふれあいの推進 (P328)

#### 〔魅力にあふれる公園緑地のパークマネジメント〕

- 公園緑地等の管理運営の推進 (P320～P323, P325)
  - ・身近なスポーツ施設及び自然体験の場の創出に向けた取組の推進 ㊦ (P321, P325)
- 新たなみどりの担い手の確保・育成に向けた取組等のグリーンコミュニティ形成の推進 ㊦ (P318)
- 大規模な公園緑地の整備 (P320～P321)
- 魅力的な公園の整備 (P321)

#### 〔地域資源等を活かした魅力的な都市空間づくり〕

- 地域緑化の促進によるみどりのまちづくりの推進 (P317)
- 木材利用の促進 (P403)

## 戦略5 「世界に輝き、技術と英知で、未来をひらくまち」をめざす

### 〔脱炭素化の推進〕

- 市民・企業等との協働による温室効果ガス削減（P302～P303）
  - ・脱炭素モデル地区の脱炭素化に資する優れた事業に対する支援 ㊦（P302）
  - ・公共施設への更なる再生可能エネルギー導入を目指した、PPAモデル（屋根貸し自家消費型太陽光発電設備設置）の活用に向けた取組 ㊦（P303）
  - ・脱炭素先行地域づくりや事業者の新たな評価・支援制度の構築 ㊦（P302）
  - ・公用乗用車への電動車（HV、電気自動車等）の率先導入 ㊦（P303）
  - ・庁舎等建物内照明のLED化 ㊦（P303）
- グリーンイノベーションの推進及び中小企業に対するESG投融資の促進（P304, P339）
  - ・川崎国際環境技術展やグリーンイノベーションクラスター等において創出された事業への伴走支援や中小企業向けの脱炭素への意識醸成セミナーの実施 ㊦（P339）
  - ・ESG投融資の普及による中小企業の脱炭素経営等の促進 ㊦（P339）
  - ・環境技術を活かしたグリーンイノベーションの推進に向けた企業連携及び支援の取組（P304, P339）
- 地域エネルギープラットフォームを担う「地域エネルギー会社」の設立に向けた取組 ㊦（P303）
- 処理施設の安定的な運営及び長寿命化の推進（P312）
- ごみ減量・リサイクルの推進（P311）
- プラスチック資源循環施策の推進（P313）
  - ・プラスチックごみ一括回収に向けた実証事業等の実施 ㊦（P313）
- 川崎港のカーボンニュートラル化の推進 ㊦（P387）

### 〔水素戦略の推進〕

- 水素等の供給・需要拡大に向けた取組の推進（P365）
- カーボンニュートラルコンビナートの構築 ㊦（P365）
- 水素エネルギー利活用の理解促進（P365）

### 〔デジタル化・国際化に対応したイノベーションの推進〕

- ライフ・ウェルフェアイノベーションの推進（P358, P362）
- オープンイノベーションの推進（P362）
- 社会全体のデジタル化に向けた取組の推進（P368～P369）
  - ・オンライン決済等に対応した次期電子申請システムの導入による市民の利便性の向上 ㊦（P369）
  - ・ぴったりサービスの活用によるマイナンバーカードの利用促進 ㊦（P369）
  - ・地域人材等を活用したデジタルデバイド対策の実施 ㊦（P369）

### 〔中小企業の支援・商業の振興〕

- 市内中小企業・商業等の支援（P338, P342～P343, P346～P348）
  - ・産業集積の維持・強化に向けた市内への企業立地支援 ㊦（P348）

- ・商店街が実施するイベントや地域課題の解決等に向けた取組の支援 ㊦ (P342)
- 中小企業のデジタル化などの社会変化への対応 (P343, P347)
- ・中小企業の競争力強化に向けたデジタル化への支援 ㊦ (P347)
- ・商業者のデジタル化や意欲ある商業者の発掘・育成の取組の推進 ㊦ (P343)
- ・中小企業のSDGs経営に向けた取組の支援 ㊦ (P347)

#### 〔都市農業の振興〕

- 都市農業振興施策の推進 ㊦ (P351～P352)

#### 〔就業の支援〕

- 総合的な就業支援の実施及び多様な人材活躍の推進 (P372)

#### 〔臨海部の活性化〕

- 臨海部の競争力強化 (P383)
- 臨海部の新産業創出拠点の形成 ㊦ (P381)
- 大規模な土地利用転換の取組の推進 ㊦ (P382)
- 国際戦略拠点の形成・マネジメント (P381)
- ・立地機関の研究・事業活動の活性化支援や市内産業への波及、起業を促進するインキュベーション機能の強化に向けた取組の推進 ㊦ (P381)
- 交通機能の強化 (P382)
- 臨港道路東扇島水江町線の整備 (P386)
- 港湾物流機能の強化 (P385, 387)

### 戦略6 「みんなの心がつながるまち」をめざす

#### 〔パラムーブメントの取組の推進〕

- かわさきパラムーブメントの取組の推進 (P478)
- ユニバーサルデザインのまちづくりの推進 (P168)

#### 〔人権と多様性が尊重されるまちづくりの推進〕

- 平等と多様性を尊重した人権関連施策の推進 (P471～P473)

#### 〔スポーツ・文化芸術の振興〕

- スポーツのまちづくりの推進 (P426～P428)
- 若者文化の発信 (P428)
- ・日常の施設として若者文化創造発信拠点の整備・運営の支援及び公園や河川敷などへの環境整備に向けた検討 ㊦ (P428)
- ・ブレイキンの世界大会の誘致及び開催の支援 ㊦ (P428)
- 市民の文化芸術活動の振興 (P431)
- ・「アート・フォー・オール」推進モデル事業の実施 ㊦ (P431)
- 被災収蔵品の修復等と新たな博物館、美術館の整備に向けた取組の推進 (P432)
- 橘樹官衙遺跡群の保存・整備・活用の推進 (P433)

- 音楽や映像のまちづくりの推進 (P439～P440)

〔協働により、心がつながるコミュニティづくり〕

- 多様な主体による協働・連携のしくみづくり (P457・P466)
- 町内会・自治会の活動を支える取組の推進 (P458)
- 生涯学習や地域活動の場としての学校施設の有効活用 ㊦ (P296)

〔シティプロモーションの推進〕

- 川崎の魅力を活かしたシティプロモーションの推進 (P444)
- 市制 100 周年に向けた取組の推進 ㊦ (P443)
- 川崎の特性を活かした観光の振興 (P448～P449)

## 4 第3期実施計画の推進に要する計画事業費

(単位:百万円)

	年度	総事業費	一般会計の財源内訳				
			一般会計	国庫支出金	市債	その他 特定財源	一般財源
総 計	令和4(2022)	1,376,686	878,513	162,057	93,133	108,723	514,599
	令和5(2023)	1,381,075	870,917	148,719	63,572	110,314	548,311
	令和6(2024)	1,392,745	879,304	151,569	57,780	108,582	561,374
	令和7(2025)	1,402,257	880,517	150,698	48,923	107,814	573,080
	<b>4か年総計</b>	<b>5,552,763</b>	<b>3,509,251</b>	<b>613,043</b>	<b>263,408</b>	<b>435,433</b>	<b>2,197,364</b>

※ 公債管理会計分の事業費は、各会計の市債の発行や償還を管理する会計であり、事業費が重複するため、対象事業費から除いています。

※ 百万円未満を四捨五入しているため、一般会計と財源内訳の合計が合わない場合があります。

## 5 第3期実施計画策定に向けた今後の予定

- 2月7日(月) 第3期実施計画案の公表
- 3月下旬 第3期実施計画の策定・公表